

2026年11月22日

国士舘大学大学院グローバルアジア研究科

2026年度入学試験問題

修士課程 専門科目 (選択)

ビジネスコミュニケーション分野 (ビジネス)

試験時間 60分

注意事項

1. 試験開始の合図があるまで、この冊子を開かないこと。
2. 解答は黒鉛筆を使用すること。
3. 机の上は、受験票、筆記用具、消しゴム、時計以外は置かないこと。
4. 問題用紙に受験番号を忘れずに記入すること。
5. 試験終了後、問題用紙、解答用紙共、回収します。

受験 番号	
----------	--

国士舘大学大学院 グローバルアジア研究科

2026 年度

修士課程入学試験問題 専門科目：ビジネスコミュニケーション分野

以下の問題のうち1つを選択し、別紙の解答用紙に問題番号を記入して解答を記述してください。

問題番号：2611021

多角化戦略について、下記の用語を用いて①多角化とは何か、②企業がそれを実行する動機は何かを説明し、③成功に向けての論理について事例を交えて論じなさい。

【無関連多角化、範囲の経済、コア・コンピタンス（企業の中核能力）】

問題番号：2611022

経営戦略には、全社レベルの戦略、事業レベルの戦略、そして機能レベルの戦略がある。では経営戦略について、下記の用語を用いて①全社レベルの戦略と②事業レベルの戦略とは何かを説明し、③それぞれの戦略について事例を交えて論じなさい。

【競争優位、海外進出、事業撤退】

問題番号：2611023

人の欲求にはどのようなものがあるか。また、その欲求を満たすために、組織はどのようなインセンティブ・システムを設計をすべきか。

問題番号：2611024

3つの基本戦略について具体例を用いて説明しなさい。

問題番号：2611025

ポーターは企業が競争優位を得るための戦略として、「コスト・リーダーシップ戦略」、「差別化戦略」、「集中戦略」を提示した。これら三つの戦略の内容を簡潔に説明し、一つの企業を挙げ、その企業がどの戦略を採用していると考えられるか論じなさい。

問題番号：2611026

グローバル化の進展により、企業は積極的に国境を超えて事業展開を行うようになってきている。企業が国際市場に進出する主な理由を説明し、グローバル化が企業活動に与える機会とリスクの両面について、具体的な企業事例を用いて論じなさい。

国士舘大学大学院入学試験

出題の意図と採点のポイント

研究科名	グローバルアジア研究科
試験期別	第I期
試験区分	修士課程 専門科目
試験科目名	ビジネスコミュニケーション分野（ビジネス）

■出題の意図

ビジネスコミュニケーション分野においては、配布している『受験準備の手引き』に掲載されている指定参考図書（加護野忠男・吉村典久編著『1からの経営学 第3版』碩学舎）に基づいて、以下の意図をもって出題しています。

- ①大学4年間の学習の程度を知るために、各分野の専門的な知識が身についているかを図る。
- ②各分野の専門的な知識の応用能力や理解度を知るため、習得した知識を具体的な事例等で説明できるかを図る。
- ③論文を書くために必要な文章能力があるかを図る。

今回の出題範囲；

■採点のポイント

- ①基礎知識
- ②応用力と説明能力
- ③文章構造や表現